

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 勝山市立成器南小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 911-0804
福井県 勝山市 元町3丁目3-1-38

E-mail : minamisyo@edu.city.katsuyama.fukui.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 181 名 女子 184 名 合計 365 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

3年生 私たちの町の「ふるさとの宝」発見

- ホタルについて知る。
 - ・ホタルの卵、幼虫を観察した。
 - ・親子行事「ホタル鑑賞会」弁天のホタルを観察した。
- ホタルについて調査を行う。
 - ・保護者に依頼して、各家庭でホタル分布調査を行った。
 - ・保護者・親戚の人を対象にホタルアンケートを行い、集計した。
- ホタルを守る取り組みについて理解を深める。
 - ・「浄土寺川のホタルを守る会」の会長 松山議員さんを講師に招き話を聞いた。
 - ・ホタルいる川「淀川」といない川の調査をして、ホタルが住みやすい環境について考えた。
 - ・道徳で「ホタルの星」という話を紹介し、他県の取り組みにはどのようなものがあるかの例を学んだ。
- ホタルが住みやすい環境を守っていく活動を行う。
 - ・セイタカアワダチソウの駆除を行った。
 - ・南の子発表会でホタルを守る取り組みを提案した。

4年生 「わたしたちの町を知り、守ろう」

- ツバメや巣について知る。
- ツバメの巣を調査する。
 - ・校区のツバメの巣がどこにあるのかを調査し、マップにした。
 - ・どのようなところに巣を作るのか考えた。
- 地域の人たち（約200人）にアンケートをし、意識調査をする。
 - ・アンケートの結果から、なぜ巣を作って欲しくない人がいるのかなど考えられることを考えた。
- グループ毎に調べたいことを考え、伝えたいことをまとめる。
 - ・ツバメの体のすごさ ・ツバメの仕事 ・ツバメの1年
 - ・アンケート結果 ・天敵から守るため ・えさを増やすため
 - ・ふん対策 ・校区へ発信
- 全校児童や地域の方、保護者に向けて自分たちが調べたことを発信する。

5年生 「赤トンボ調査隊」

○赤トンボについて知る。

- ・赤トンボリーフレットを使って、赤トンボの種類や成長の仕方について知った。

○赤トンボの調査

- ・学校のプールや近所の田んぼでヤゴを探し、ルーペで観察をした。
- ・田んぼで羽化殻を探し、羽化したトンボにマーキングをした。(6月中旬～7月中旬)
- ・東山でトンボを探し、マーキング活動をした。(7月28、29日 自然体験活動で)
- ・赤トンボの産卵の観察と、卵の観察をした。(10月初旬)

○調査をして分かったことをまとめる。

- ・調査をして疑問に思ったことをインターネットなどを使って調べた。
- ・グループに分かれ、①ヤゴの体 ②卵 ③赤トンボの移動 ④赤トンボと環境についてまとめた。

○発信

- ・まとめたことを南の子発表会でクイズや劇を交えて発表した。

6年生 「生き物から環境の良し悪しを知ろう」

○外来種や環境指標生物について知る。

- ・前園コーディネーターの話、外来生物ハンドブック(県安全環境部自然環境課発行)、インターネット等で調べてまとめた。

○淀川の調査をする。

- ・淀川に住む生き物、汚れについて調べた。
1回目(5/29)調べた結果、サワガニ、ヘビトンボ・コオニヤンマ・オニヤンマのヤゴ、カワナ マツカサガイ、スナヤツメ等の生物を見つけた。これらは、きれいな水や少し汚い水に生息している生物であることから、淀川の水は「きれいな水～少し汚い水」であることが判明した。また、外来種のコカナダモが生えており、缶・ビニル袋等のゴミも捨てられていた。

2回目(7/1)前回のことが生かされ、一人一人が目当てを持って調査出来た。ハグロトンボのやごが多く見られた。

○アンケート調査をする。

- ・地域の方々や保護者に、淀川についての意識調査をした。20年ほど前の川の様子、川遊びの内容、淀川に対する思いなどを聞いた。

○グループごとにまとめる。

- ・①外来種②環境指標生物③淀川にすむ環境指標生物④淀川の今と昔⑤淀川のゴミ⑥伝えたいことのグループに分かれてまとめた。

○発信

- ・南の子発表会で提案した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）